

彙報 (平成二十八年年度)

身延山大学東洋文化研究所 (現、身延山大学国際日蓮学研究所) は平成二十八年年度において以下の活動を行った。

○平成二十八年年度 東洋文化研究所例会

【第一回】平成二十八年七月六日 (水)

義寂と懐興の『法華経』一乗解釈について

朴 姚娟 (東国大学校仏教学術院HK研究教授)

【第二回】平成二十九年一月十八日 (水)

チベット仏教における修行階梯について

ケンポ・ツルティム・ロドゥ (ラルン五明仏学院副院長)

○第六十九回日蓮宗教学研究発表大会

第六十九回日蓮宗教学研究発表大会が平成二十八年十月二十一日 (金) から二十二日 (土) にかけて、立正大学大崎キャンパスにて開催された。

○大会役員

総 裁	身延山大学久遠寺法主	内野日絵
顧問	身延山大学長	浜島典彦
副会長	身延山大学東洋文化研究所長	望月海慧
副会長	身延山大学仏教学部長	池上要靖
【個人発表】(当研究所関係者のみ)		
初期大乘經典の共通性と独自性	岡田行弘	
刊本遺文の標記相違に関する一考察	木村中一	

○ラオス世界遺産修復プロジェクト

一、日時 平成二十九年二月十六日～同年三月八日

全二十四日

二、場所

・ラオス人民民主共和国ルアンパバン県世界遺産地域内

・同国ヴィエンチャン特別市  
・同国シエンクワン県

三、参加者

《日本側》 九名

参加者名

所属

柳本 伊左雄

身延山大学特任教授

木村 中一

身延山大学准教授

ジル・エマ・ストロースマン

身延山大学特任講師

鈴木 義孝

身延山大学 研究員・現地駐在員

岡村 達人

身延山大学 研究生 他

《ラオス側》 十名

参加者名

所属

シンテーワ

情報文化観光省美術工芸局 課長

ニーヴォン

情報文化観光省美術工芸局 技官

ソンプン

県情報文化観光省支所 技官

シートン

国立美術工芸大学 木彫講師

スワンカム

国立美術工芸大学 陶芸講師

ソムチャイ

国立美術工芸大学 絵画講師

身延山の海東仏教関連資料について  
アドヴァヤヴァジュラとアティシヤ  
金 炳坤  
望月海慧

パイワン

国立美術工芸大学 木彫講師 他

a) 仏像修復事業

副主任  
所 員

金 炳坤

・木彫仏二体

池上要靖、伊東久美、田沼 朗、長又高夫、  
檜木博之、浜島典彦、間宮啓壬、三輪是法、

・ 鑄造仏三体

望月真澄

・ 塑像仏一体

客員所員

岡田行弘、岡田真水、加賀美尤祥、北村愛子、  
桑名貫正、小谷みどり、庄司史生、鈴木隆泰、

b) 仏像修復技術者育成事業

・ 国立美術工芸大学、情報文化省美術工芸局技官、県国立

美術工芸学校、及国立王宮博物館の講師・技官・研究員

を対象に仏像修復技術指導を行う。

武見敬三、寺尾英智、福土慈稔、蓑輪顕量、  
柳本伊左雄、吉田永正、渡邊寶陽、  
Jonathan Alan Silk、金 天鶴、Lucia Dora Dolce

c) 仏像安置状況及盗難仏調査

研究員

・ 世界遺産地域内全三十五ヶ寺を対象に、仏像目録(二〇

〇六年本事業作成)を基として、現在の安置状況や盗難

仏の有無等、追跡調査を行う。

片山由美、木村良勢、齊藤あゆみ、佐々木さち子、  
鈴木 稔、都守基一、富山美由紀、中井本勝、

d) 仏像修復技法に関する調査・研究

・ パタイペットの制作方法・材料の調査研究

研究生

・ シェンクワン県ワットピアット寺院に現存するパタイペッ

永利郁乃、中野一茂、西 勝秋、西 康友、  
檜殿伴子、村瀬正光、望月香代、  
GIGLIO Emanuele Davide、Jill Emma Strothman

ト仏の調査

・ 鑄造技術研究・調査

e) ・ 仏像修復テキスト制作準備

鈴木義孝、宮坂葉子、森田信宏、依田 司、  
岡村達人

東洋文化研究所役職員(平成二十八年度)

顧問

岩田諦静、上田本昌、高橋堯昭、長澤市郎、

所 長

町田是正、宮川了篤、望月海淑、山田英美

所 長

望月海慧

主任

木村中一